

一般劇映画等選定一覧(2019年度)少年・家庭向け

題名	時間	作品の内容
北の果ての小さな村で	94分	グリーンランドの人口80人の村にある小学校に赴任したデンマークの新人教師を描いたアドベンチャー・ドラマ。生徒との交流を通して成長していく様子を、北極の人々の伝統的な暮らしと、グリーンランドの大自然とともに描く。
ディリリとパリの時間旅行	94分	「キリクと魔女」「アズールとアスマール」で知られるミッシェル・オスロ監督によるアニメーション。ベル・エポックの時代のパリ。ニューカレドニアからやってきた主人公ディリリが、パリで出会った最初の友人オレルとともに、誘拐事件の謎を解いていく。
風をつかまえた少年	113分	2001年、アフリカの最貧国マラウイを食糧危機が襲う。飢饉による貧困のため中学へ通うことを断念した少年ウィリアムは図書館で一冊の本に出会い、独学で風力発電を造り上げることを思いつく。「勉強をしたい」少年のまっすぐな思いが未来を切り開いていく。学ぶことの本当の意味を教える、感動の物語。
トイ・ストーリー4	100分	ウッディ、バズらおもちゃの仲間たちの前に現れた、自分をゴミだと思い込んでいる手作りおもちゃのフォーキー。新たな冒険の先でウッディを待ち受けていたのは、運命的な出会いと想像を超える世界だった。はたして彼が最後に選んだ“驚くべき決断”とは・・・？
人生をしまう時間	110分	森鷗外の孫で東大病院の名外科医がたどりついた最後の現場は、「在宅」の終末期医療だった。患者と家族と向かい合い、最後の日々をともに過ごす。小堀鷗一郎医師(80歳)と在宅医療チームに密着した200日の記録。
ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん	81分	東京アニメアワードフェスティバル2016グランプリ作品。19世紀。ロシアの貴族の少女サーシャが、行方不明の祖父を探しに北極点を目指す冒険物語。高畑勲監督も日本公開を切望されていましたが、3年越しに東京都写真美術館ホールを皮切りに全国公開が実現します。
だれもが愛しいチャンピオン	118分	プロバスケットチームの副コーチを務めるマルコは、事故を起こし社会奉仕として知的障がい者のバスケットチームのコーチを命ぜられる。彼らの純真さ、温かさ、豊かなユーモアに触れ、マルコは自分の人生を見つめ直す。
もみの家	105分	心に不安を抱えた若者を受け入れ共同生活を送る“もみの家”にやってきた16歳の彩花。戸惑いながらも、寮の主宰 佐藤夫婦や心優しい人々との関わりの中で彩花は少しずつ、前を向いて歩み始める。

題名	時間	作品の内容
ビッグ・リトル・ファーム 理想の暮らしのつくり方	91分	愛犬の鳴き声が原因でアパートから追い出されたジョンとモリーは夢見ていた農場作りを決意するが、たどり着いた先は荒れ果てた大地だった。2人の自然との共存を目指した長い奮闘が始まる。
この世界の(さらにいくつもの)片隅に	168分	2016年に公開され社会現象を巻き起こした映画『この世界の片隅に』を元に、新たに描き加えられた30分が、物語の容貌を塗り変える。相手を大切に思うからこそ胸の奥にしまい込んでしまう、こころのひみつの物語。
恐竜が教えてくれたこと	84分	アンナ・ウォルツの児童文学「ぼくとテスの秘密の七日間」を映画化。オランダ北部の島に家族で旅行にきた 11歳の少年サムは島に住む不思議な魅力にあふれた少女テスと出会い、人生で忘れられない夏を経験する。